

# 「地域と共に成長を目指す」

## 大橋鉄工 横手で新工場竣工式

自動車部品製造の大橋鉄工2工業団地に建設した関連会社(愛知県北名古屋市の大橋鉄工秋田)の新工場が、横手市の横手第の竣工式が22日、現地で行われた。同社のほか、トヨタ自動車やトヨタ自動車東日本(宮城県大衡村)、県、横手市関係者ら計約50人が出席。工場の完成を祝い、事業拡大を誓った。



生産現場の設備を見学する関係者



式典で大橋社長は「創業100年の節目に、大橋鉄工秋田を設立できた。次の100年へ向け、社会と共に安定的に成長できるように努める」とあいさつ。佐竹敬久事は「新工場は秋田の自動車産業振興の試金石になる。人材供給、交通体系の整備などさまざまな面で支援すると述べた。トヨタ自動車の佐々木眞一顧問・技監(秋田市出身)は「地

竣工式でテープカットを行う関係者

域の産業活性化の第一歩となることを信じている」と話した。

大橋鉄工秋田は2015年11月に設立し、県、横手市と立地協定を締結。第2工業団地の1万5千平方メートルを取得した。新工場は鉄骨平屋建て3900平方メートル。昨年4月に着工、8月下旬に完成した。今

月1日から稼働している。新工場では当面、トヨタ自動車北海道(苫小牧市)など向けに自動変速機の部品を製造する。ボディ部品やエンジン周辺部品など生産拡大を検討しており、トヨタ自動車東日本への納入も目指す。

大橋社長は「地産地消のものづくりが目標。事業拡大へ向け、地元企業との連携も検討していく」と話した。従業員は9人。横手市の5人を含む8人を県内から新規雇用した。将来的に売上高10億円、50人への増員を目指す。

大橋鉄工は1917年創業。トヨタ自動車をはじめ、国内大手自動車メーカーのエンジンやボディの部品などの開発から設計、製造、販売までを手掛ける。従業員316人、資本金8千万円。2016年8月期の売上高は87億円。(羽生恭子)

## 自動車産業、参入好機に

### トヨタグループ 本県企業に期待感

竣工式には、トヨタ自動車では、本県企業の自動車産業への参入の好機になるとの指摘があった。

美町出身)、トヨタ自動車東日本の白根武史社長ら、トヨタグループの関係者も出席した。グループに直接部品を納入する「1次サプライヤー」である大橋鉄工の進出について

「秋田の産業発展のきっかけになるといい

「期待を持っている」と話した。

白根氏は1次と2次の仕入れ先が2011年の100拠点から、現在は143拠点まで増えたとし、「部品の調達・供給網が東北に広がることは、競争力の源泉」と指摘。

本県企業もさまざまな分野で参入の可能性があるとし「部品メーカーと連携しながら、新しいものづくりに挑戦してほしい」と話した。